

後援会だより

札幌大学と保護者を結ぶホットライン

札幌大学後援会広報誌

Vol.61

発行／札幌大学後援会事務局 発行日／2024年3月31日 〒062-8520 札幌市豊平区西岡3条7丁目3-1札幌大学内 TEL(011)852-9749(直) <https://koenkai.sapporo-u.ac.jp>



武者加苗顧問



尾田麻梨菜さん



小野寺美紀副団長



尾濱颯斗さん

ある人は大迫力のサウンドに圧倒され、またある人は、さまざまなパートを受け持つ、大勢が奏でる協演が感動を呼ぶと言います。また、クラシックやポップス、ロック、ジャズ等々、ジャンルを問わない自由な音楽性も、吹奏楽の大きな魅力といえるでしょう。吹奏楽は、正規にはトランペットやトロンボーン、ユーフォニアムなどの金管楽器と、フルート、クラリネット、サクソフォンの木管楽器をメインとし、そこに打楽器や鍵盤楽器、さらにコントラバスやハープなどの弦楽器を加えた編成で演奏される音楽を指しています。少ない人数だと10数名から、多いところでは数十人で編成され、演奏会には多くのファンが詰め掛けます。

そんな魅力いっぱい吹奏楽団が、本学にも存在しています。その名も札幌大学吹奏楽団。1979(昭和54)年に結成され、これまで定期演奏会の開催、各種コンクールへの参加など、長年にわたって伝統と実績を積んできました。現在の団員は11名。副団長を務めるホルン担当、小野寺美紀さん(日本語・日本文化専攻2年生)は、「これまで、各コンクールで金賞を受賞してきた実績があるので、私たちの代でレベルを落とすことのないよう、技術を磨き、良い音を届けたい」と言い、そのために日々厳しい練習に励んでいるそうです。「OBやOGの皆さんには、現在もコーチとして指導していただいたり、団員不足を補うため、時には奏者として演奏会に参加してくださることもあります」。それだけに、技術の維持向上を意識して臨んでいる日々の練習は、真剣そのものだとあります。しかし、厳しさばかりではありません。「息を合わせるのが吹奏楽の肝ですから、楽しく談笑するなど、和気あいあいと交流も図っています。メリハリのある時間の過ごし方も、実力アップに通じる理由の一つだと思っています」と、小野寺さん。

尾田さんと音楽との関わりは小学生の時。「友だちが入っていたという理由で、地元のスクールバンドに入りました。まったく経験がないままトランペットに挑戦したら、これが楽しくて、すっかりハマりました」といふところからスタート。以降、

伝統と実績、チームワークも魅力の吹奏楽団として

和54)年に結成され、これまで定期演奏会の開催、各種コンクールへの参加など、長年にわたって伝統と実績を積んできました。現在の団員は11名。副団長を務めるホルン担当、小野寺美紀さん(日本語・日本文化専攻2年生)は、「これまで、各コンクールで金賞を受賞してきた実績があるので、私たちの代でレベルを落とすことのないよう、技術を磨き、良い音を届けたい」と言い、そのために日々厳しい練習に励んでいるそうです。「OBやOGの皆さんには、現在もコーチとして指導していただいたり、団員不足を補うため、時には奏者として演奏会に参加してくださることもあります」。それだけに、技術の維持向上を意識して臨んでいる日々の練習は、真剣そのものだとあります。しかし、厳しさばかりではありません。「息を合わせるのが吹奏楽の肝ですから、楽しく談笑するなど、和気あいあいと交流も図っています。メリハリのある時間の過ごし方も、実力アップに通じる理由の一つだと思っています」と、小野寺さん。

トランペットの尾田さんはコンクールで全国3位に！

本学の吹奏楽団の活躍をご存知でしょうか。華やかで迫力のあるサウンドが人気で、これまで、定期演奏会の開催をはじめ、各種コンクールへ参加し、数々の受賞歴を誇っています。今年度は、トランペットパートの尾田さんが金管楽器のコンクールにおいて、全国3位という栄誉に輝きました。そこで今回は、現役の楽団員と尾田さん、さらに顧問の武者教授に、吹奏楽の魅力について伺いました。

華やかで迫力のあるサウンドが聴く人の感動を呼ぶ、札大吹奏楽団
トランペットの尾田麻梨菜さんは、K金管楽器コンクールで『全国3位』に輝き、実力の高さを証明しました！

一つだと思っています」と、小野寺さん。パーカッション担当の尾濱颯斗さん(英語専攻3年生)も「吹奏楽はチームワーク。内向的な自分を変えたくて始めたので、メンバーはもちろん、多くの人と交流し、プレーヤーとしても人間としても成長したい」と語ります。



ね。本学のメンバーはそれを楽しんでやってくれます。それが演奏にも反映され、強さに繋がっているのではないのでしょうか。さらに武者教授は、「細かな技術面の指導は監督やOB・OGに任せ、私は専ら、団員が学生として本来の勉強を疎かにしていないか、活動を続ける上でなにか困ったことはないかなど、生活面に目を配っています」と、楽団の存続に欠かせないサポート役として尽力されています。その一方で、武者教授が忘れないでほしいと語るのは、札大吹奏楽団の環境面。「本学には吹奏楽に必要な楽器が全て揃っており、練習場所には立派なホールが用意されるなど、恵まれた環境があることを忘れないでほしい」と言います。「単に演奏が上手になることよりも、こうしたサポートに感謝できること。また、将来は後輩を指導したり、企画運営の経験を活かし、一人の人間としての成長も期待しています」と語り、団員の練習を見つけていました。

いました。「私は現在もアマチュアのオーケストラに所属して音楽活動が続けていますが、大学の吹奏楽団の魅力は、単に演奏するだけではなく、自分たちで企画し運営するところまでやる点にあります。例えば、どんな曲を選ぶか、どんな演出にするか、ゲストを誰にするかなどです

武者教授によると、指導者の鳴らしたシンバルひとつ、一言のアドバースがきっかけで、学生たちの演奏が飛躍的に良くなることもあると言います。札大吹奏楽団がどのような成長を遂げ、どんな演奏を聴かせてくれるのか、今後がますます楽しみです。

学生の課外活動を応援します!!

札幌大学後援会では、昨今の経済状況の変化を鑑み、今年度から課外活動の全国大会への参加費用の支援を1人当たり1日3,000円から5,000円へ引き上げました。また、道内で開催される全国大会も支援の対象とすることにしました。コロナ禍においては、課外活動にも様々な制約がかかり、練習もままならず、公式試合や各種行事も中止となる事態が相次ぎました。課外活動に力を入れて取り組もうとしていた学生にとって苦しい月日が続きましたが、徐々に制約が緩和され、新型コロナウイルスが5類感染症となった今年度は、多くの競技で公式試合が再開し、文化系の活動も活発化してきています。

課外活動への支援額の推移を見てみると、コロナ禍初年度では年間総額50万円程にまで減少しましたが、その後、年々支援額が増え、今年度は前述の支援金の増額分を差し引いたとしても、コロナ禍前のペースを上回り、2月時点で総額98.5万円に達しています。また、全国大会やコンクールで好成績を納めたという嬉しいニュースも舞い込んできています。

課外活動は、限られた大学生活の中で、学生の成長につながる大事な活動のひとつです。後援会では、学生が充実した活動に励むことができるよう、これからも支援の取組みを継続していきます。

恵まれた環境に感謝し、人間としての成長も…

顧問の武者加苗教授にもお話を伺

教えてくれました。と、未来への抱負を

就職活動スタート！ 「札幌大学企業研究会」開催！

開催日／2024年2月7～9日
計3日間
場所／札幌大学新校舎SUcoie

今年度も3日間で約100社の企業にお越しいただき、「札幌大学企業研究会」を開催しました。学生たちは、メモを取りながら真剣な表情で企業の方の話を聞いていました。

また、今年度から、低学年次の就職意識を高める目的で、1・2年生の学生4名にボランティアスタッフとして参加してもらいました。学生たちは受付や企業の方の案内などを通して、社会人としてのマナーを学びながら、研究会の運営を支えてくれました。

いよいよ就職活動が本格的に始まります。就職課では、履歴書などの書類添削や面接練習だけではなく、就職に関わるどんな相談も受け付けています。



「進路選択のきっかけ作りになる」とも良い交流会だった」、「将来

学生と企業との交流会

札幌大学校友会との連携イベント開催！

本学では、学生の企業理解を深める場として、2月の企業研究会のほかにも学内での企業説明会を行っています。今年度は札幌大学校友会と連携し、令和5年12月1日に『学生と企業との交流会』を開催しました。校友会とは、本学の卒業生から成る団体です。交流会には卒業生が在籍する4社にお越しいただき、学生と企業が就職活動の状況や印象等について話し、企業側から自身の経験を踏まえたアドバイスをもらいます。

来を考える機会が少ないので、先輩方のお話を聞いたのはとても貴重な体験でした」といった前向きな声が多数聞かれました。

本学では、今後も校友会との連携を強化し、学生の就職活動を後押ししていきます。



「公務員仕事研究セミナー」を開催！ 公務員試験に向けて 高まるモチベーション！

12月5日（火）・6日（水）・12日（火）の計3日間、みらい共創スクエアで「公務員仕事研究セミナー」を開催しました。国家公務員、地方自治体、警察本部、消防局、自衛隊など12の団体の担当者様に、それぞれの仕事の概要や魅力などについて説明していただきました。

延べ76名の学生が参加し、どの学生も真剣に説明を聞いていました。「モチベーション向上に繋がった」「自由に質問することができると、気楽に職員の方の話を聞くことができて良かった」などの前向きな意見も聞かれました。

本学では、このようなセミナーのみならず、公務員対策室（無料・条件あり）、公務員養成講座（有料）など、公務員志望の学生のサポートに力を入れています。

2023年度 公務員試験合格実績	
市町村職員	27名
警察官（内北海道警察15名）	21名
北海道職員	17名
消防	6名
国家一般職	5名
刑務官	5名

（令和6年2月2日現在一部抜粋）



内定者リポート

リベラルアーツ専攻4年

本郷 七海

挑戦することが成功につながる

私は、3年生の11月から合同企業説明会に参加し就職活動を始めました。その頃の私は「なりたいたい自分」や「興味のあったこと」がありませんでした。まずは会社・企業とはどのようなものかを知りたくて合同企業説明会に参加しました。そこで初めて航空業界に対する興味の扉が開きました。

大学生活では、2年生の半年間フリーペーパーサークルに所属し、副編集長に推薦されました。それまでの私は、先輩に立ってリーダーシップを発揮することをためらっていましたが、運営を司る職

務に挑戦することにしました。特に苦労したことは、チームをけん引することです。そこで行ったのが、一人一人がリーダーになったつもりで活動に取り組む意識改革です。その結果、チーム一丸となって全員で仕事をこなし、良い冊子ができ上がりました。この経験から、各々の仕事を当事者意識を持って行うことの大切さを学びました。

私が就職活動を通して大切だと思ったことは、スタート地点でなにも持っていない状況でも、自分に少しでも期待をしてみようという事です。「挑戦と頑張りが自分には何にでもなれる」という風に大袈裟に思っ、将来の働く自分を想像しながら、就職活動を楽しんでほしいと思います。

そして、面接練習は念入りに何回もしたほうが本番の自信に繋がります。私は週に3回キャリアアサポートセンターに通い、専門の先生に2時間ほどマンツーマンでがっちり面接練習やエントリーシートの添削をしてもらいました。練習とは

いつでも、緊張してうまく質疑応答ができない時があり、挫けそうになったこともたくさんありました。しかし、今を乗り越えた先にうれし涙の内定が待っていると想像して頑張りました。そして、無事に航空会社から内定をいただくことができました。

学生の皆さんには、就職活動を具体的に考える機会などあまりないかもしれません。就職活動では学生時代のことをよく聞かれます。ぜひ大学を通じた活動にひとつでも挑戦してみ、大学での思い出を作ってみてください。活動していると、成長したこと、苦労したことなどから自分をアピールする事ができます。学生生活を楽しみながら、就活生になったときにはその思い出を語れるように、頑張ってください。



「就活生インタビュー」 現在、公務員を目指し、 勉強中！ インタビュeeshipで 視野を広げることができました。

経済学専攻3年生 奥山 将太さん



経済学専攻 3年生 奥山 将太さん

札幌市や道庁などの地方公務員、もしくは国家公務員の一般職を目指して、現在勉強中です。公務員を志望したのは高校生のとき。卒業したら高卒で公務員になろうと思いましたが、先生に「幅広い学びや体験があるから、大学に行ってみてから公務員になったほうがいい」とアドバイスを受け、札大に進学しました。

本学の公務員養成コースに参加していますが、そこで先生に勧められたのが、

インターンシップです。2年生の時に地方創生について学んだことから興味がわき、本学が地域連携協定を結んでいる「むかわ町」で地域活性化のイベントに参加しました。1期目は現地に行き、町のことを学んだほか、「さっぽろ雪まつり」に町をPRするブースで特産品を販売するお手伝いもしました。2期目は「むかわ町」で開催された「恐竜リベンジャーズ」というイベントの支援。役場の方に「自由によていいよ」と言われ、他大学の学生と合同で、子どもたちと触れ合うゲーム大会を企画・実施しました。子どもと接することに苦手意識がありましたが、お手伝いしてくださった民間企業の方々のサポートで、笑顔で接することができました。この経験を通して、どうやって人を呼べるのか、どうしたら町の賑わ

いに繋がれるのか、その難しさと楽しさを学ぶことができました。また、コミュニケーションスキルも少しだけ養うことができたと思います。なにより視野を広げることができたことは大きな収穫でした。

今後は夏にピークを迎える公務員試験に向けて勉強漬けの毎日になると思います。現代文など私の得意科目はさらに伸ばし、社会科学など暗記系の科目はこれから集中して頑張りたいと思います。公務員養成コースでは、知識を詰め込むインプットメインではなく、解くほうのアウトプットがメインとなっています。たとえば、同じ公務員志望の人たちとのグループ学習があり、テキストをもとに問題を出し合うといった進め方をしています。解答を求めるなかで、手掛かりとなる知識を教えたり教えられたりして、お互いに共有しています。また、全員わからない場合は、皆でそこを重点的に勉強しようという、確認することができるといわけです。問題をしっかりと理解できることろまで踏み込める、それが公務員養成コースの素晴らしい点だと思います。もちろん、札大では公務員志望の学生だけでなく、民間企業を志望する学生に対しても手厚いサポートが用意されています。私も心強い支援を受けて、合格を、そして地域に貢献できる社会人を目指したいです。



角田ゼミを履修する学生の選択理由はさまざまです。例えば「マーケティングやマネジメントを学びたくて」「先輩に勧められて」「オープンキャンパスで受けた角田先生の体験授業が面白くて」「角田先生の授業で経営学に興味を持ち、もっと学びたくて」と、動機やきっかけは異なりますが、その全ての声に共通していたのが、「自主性や自由度の高い学びに魅力を感じたから」というところ。経営や経済に関する課題をテーマとして、市場や消費者の動向を探り、各自が文献を読んで自分の意見を持ち、互いに議論し合っ

て解決方法を考察する。それを実践するため、角田ゼミでは、これまでの常識にとらわれない、大胆かつ新しい学びのあり方を追求しています。

自主性と自由度の高い角田ゼミでは、研究テーマも学生自らで決めています。ある日、マーケティングを学ぶ素材として、ラーメンを探り上げました。「多くの人に愛されるメニューでありながら、スープの味やトッピング、麺の茹で加減など、その好みは千差万別。ひとくちに『ラ

ーメンが好き』と言っても、各自が思い描いているものは、全く異なっているということも珍しくありません。それだけに、マーケティングを研究するには、格好の対象だと気づきました」とゼミ長の

自由度の高い魅力的な学び

角田美知江准教授による『角田ゼミナール』は、マーケティングやビジネスの視点から、経営学について総合的に学ぶ人気のゼミ。座学にとどまらない、アクティブな活動でも注目を集めています。そんな角田ゼミが現在、ある壮大なプロジェクトを進めていると聞き、1月中旬に角田ゼミを訪問し、ゼミ生の皆さんに話を伺いました。

「ゼミナール紹介」 学生の自主性を尊重し、自由度の高い「角田ゼミ」が挑戦する、理想のラーメン作り!! オープンキャンパスで高校生に提供!



角田ゼミを履修する学生の選択理由はさまざまです。例えば「マーケティングやマネジメントを学びたくて」「先輩に勧められて」「オープンキャンパスで受けた角田先生の体験授業が面白くて」「角田先生の授業で経営学に興味を持ち、もっと学びたくて」と、動機やきっかけは異なりますが、その全ての声に共通していたのが、「自主性や自由度の高い学びに魅力を感じたから」というところ。経営や経済に関する課題をテーマとして、市場や消費者の動向を探り、各自が文献を読んで自分の意見を持ち、互いに議論し合っ

て、もう後には引けません。「ゴースインが出て、やる気と責任感がわきました。執行部を中心に調理担当、プロモーション担当、接客担当と、各自の得意とする分野で役割分担し、現在、企画を詰めている段階です」とゼミ長の拔山さん。入試、広報課とも綿密な打ち合わせを繰り返していると言います。

試作を重ねたラーメンは自信作だと、調理担当の小野さんと中西さんが口を揃えると、それを聞いていた他のゼミ生全員が頷きます。「調理担当からバトンタッチして、次にプロモーション担当の私たちがやるべきことは、大学のホームページやSNSを利用し、大々的に企画を発信すること。記録として動画やスライドも制作し、活動報告も行う予定です」と手塚汐音さん。その横で「より多くの人に知ってもらいたいので、チラシの制作も進めています」と、担当の横山龍雅さんが続いて声を上げました。接客担当の加藤風雅さんは、「当日のシミュレーションも万全で、訪れた高校生をなんとかそこに誘導したい」と張り切っています。また、「私は盛り上げ隊長。宣伝も大切ですが、なにより高校生によるこんでもらいたいですね」と、チラシ制作も担当する酒井基紀さんも意気込んでいました。

大学、およびゼミの活動を高校生に伝えたい

とで、もう後には引けません。「ゴースインが出て、やる気と責任感がわきました。執行部を中心に調理担当、プロモーション担当、接客担当と、各自の得意とする分野で役割分担し、現在、企画を詰めている段階です」とゼミ長の拔山さん。入試、広報課とも綿密な打ち合わせを繰り返していると言います。

ゼミ生全員の思いは、「私たちがなぜラーメンを作っているのか、なぜこのような活動をしているのか、なぜこうした活動ができるのかなどを知ってもらいたいこと」だと言います。さらに、「大学の全体の宣伝はもちろん、大学ならではのゼミという授業形態も知ってもらいたい機会にしたい」と、サポーターの矢花恭一さんや留学生の謝靖さんも、プロジェクトの成果に期待しています。



角田ゼミを履修する学生の選択理由はさまざまです。例えば「マーケティングやマネジメントを学びたくて」「先輩に勧められて」「オープンキャンパスで受けた角田先生の体験授業が面白くて」「角田先生の授業で経営学に興味を持ち、もっと学びたくて」と、動機やきっかけは異なりますが、その全ての声に共通していたのが、「自主性や自由度の高い学びに魅力を感じたから」というところ。経営や経済に関する課題をテーマとして、市場や消費者の動向を探り、各自が文献を読んで自分の意見を持ち、互いに議論し合っ

て、もう後には引けません。「ゴースインが出て、やる気と責任感がわきました。執行部を中心に調理担当、プロモーション担当、接客担当と、各自の得意とする分野で役割分担し、現在、企画を詰めている段階です」とゼミ長の拔山さん。入試、広報課とも綿密な打ち合わせを繰り返していると言います。

試作を重ねたラーメンは自信作だと、調理担当の小野さんと中西さんが口を揃えると、それを聞いていた他のゼミ生全員が頷きます。「調理担当からバトンタッチして、次にプロモーション担当の私たちがやるべきことは、大学のホームページやSNSを利用し、大々的に企画を発信すること。記録として動画やスライドも制作し、活動報告も行う予定です」と手塚汐音さん。その横で「より多くの人に知ってもらいたいので、チラシの制作も進めています」と、担当の横山龍雅さんが続いて声を上げました。接客担当の加藤風雅さんは、「当日のシミュレーションも万全で、訪れた高校生をなんとかそこに誘導したい」と張り切っています。また、「私は盛り上げ隊長。宣伝も大切ですが、なにより高校生によるこんでもらいたいですね」と、チラシ制作も担当する酒井基紀さんも意気込んでいました。

試作を重ねたラーメンは自信作だと、調理担当の小野さんと中西さんが口を揃えると、それを聞いていた他のゼミ生全員が頷きます。「調理担当からバトンタッチして、次にプロモーション担当の私たちがやるべきことは、大学のホームページやSNSを利用し、大々的に企画を発信すること。記録として動画やスライドも制作し、活動報告も行う予定です」と手塚汐音さん。その横で「より多くの人に知ってもらいたいので、チラシの制作も進めています」と、担当の横山龍雅さんが続いて声を上げました。接客担当の加藤風雅さんは、「当日のシミュレーションも万全で、訪れた高校生をなんとかそこに誘導したい」と張り切っています。また、「私は盛り上げ隊長。宣伝も大切ですが、なにより高校生によるこんでもらいたいですね」と、チラシ制作も担当する酒井基紀さんも意気込んでいました。

試作を重ねたラーメンは自信作だと、調理担当の小野さんと中西さんが口を揃えると、それを聞いていた他のゼミ生全員が頷きます。「調理担当からバトンタッチして、次にプロモーション担当の私たちがやるべきことは、大学のホームページやSNSを利用し、大々的に企画を発信すること。記録として動画やスライドも制作し、活動報告も行う予定です」と手塚汐音さん。その横で「より多くの人に知ってもらいたいので、チラシの制作も進めています」と、担当の横山龍雅さんが続いて声を上げました。接客担当の加藤風雅さんは、「当日のシミュレーションも万全で、訪れた高校生をなんとかそこに誘導したい」と張り切っています。また、「私は盛り上げ隊長。宣伝も大切ですが、なにより高校生によるこんでもらいたいですね」と、チラシ制作も担当する酒井基紀さんも意気込んでいました。

角田ゼミを履修する学生の選択理由はさまざまです。例えば「マーケティングやマネジメントを学びたくて」「先輩に勧められて」「オープンキャンパスで受けた角田先生の体験授業が面白くて」「角田先生の授業で経営学に興味を持ち、もっと学びたくて」と、動機やきっかけは異なりますが、その全ての声に共通していたのが、「自主性や自由度の高い学びに魅力を感じたから」というところ。経営や経済に関する課題をテーマとして、市場や消費者の動向を探り、各自が文献を読んで自分の意見を持ち、互いに議論し合っ

て、もう後には引けません。「ゴースインが出て、やる気と責任感がわきました。執行部を中心に調理担当、プロモーション担当、接客担当と、各自の得意とする分野で役割分担し、現在、企画を詰めている段階です」とゼミ長の拔山さん。入試、広報課とも綿密な打ち合わせを繰り返していると言います。

試作を重ねたラーメンは自信作だと、調理担当の小野さんと中西さんが口を揃えると、それを聞いていた他のゼミ生全員が頷きます。「調理担当からバトンタッチして、次にプロモーション担当の私たちがやるべきことは、大学のホームページやSNSを利用し、大々的に企画を発信すること。記録として動画やスライドも制作し、活動報告も行う予定です」と手塚汐音さん。その横で「より多くの人に知ってもらいたいので、チラシの制作も進めています」と、担当の横山龍雅さんが続いて声を上げました。接客担当の加藤風雅さんは、「当日のシミュレーションも万全で、訪れた高校生をなんとかそこに誘導したい」と張り切っています。また、「私は盛り上げ隊長。宣伝も大切ですが、なにより高校生によるこんでもらいたいですね」と、チラシ制作も担当する酒井基紀さんも意気込んでいました。

試作を重ねたラーメンは自信作だと、調理担当の小野さんと中西さんが口を揃えると、それを聞いていた他のゼミ生全員が頷きます。「調理担当からバトンタッチして、次にプロモーション担当の私たちがやるべきことは、大学のホームページやSNSを利用し、大々的に企画を発信すること。記録として動画やスライドも制作し、活動報告も行う予定です」と手塚汐音さん。その横で「より多くの人に知ってもらいたいので、チラシの制作も進めています」と、担当の横山龍雅さんが続いて声を上げました。接客担当の加藤風雅さんは、「当日のシミュレーションも万全で、訪れた高校生をなんとかそこに誘導したい」と張り切っています。また、「私は盛り上げ隊長。宣伝も大切ですが、なにより高校生によるこんでもらいたいですね」と、チラシ制作も担当する酒井基紀さんも意気込んでいました。

試作を重ねたラーメンは自信作だと、調理担当の小野さんと中西さんが口を揃えると、それを聞いていた他のゼミ生全員が頷きます。「調理担当からバトンタッチして、次にプロモーション担当の私たちがやるべきことは、大学のホームページやSNSを利用し、大々的に企画を発信すること。記録として動画やスライドも制作し、活動報告も行う予定です」と手塚汐音さん。その横で「より多くの人に知ってもらいたいので、チラシの制作も進めています」と、担当の横山龍雅さんが続いて声を上げました。接客担当の加藤風雅さんは、「当日のシミュレーションも万全で、訪れた高校生をなんとかそこに誘導したい」と張り切っています。また、「私は盛り上げ隊長。宣伝も大切ですが、なにより高校生によるこんでもらいたいですね」と、チラシ制作も担当する酒井基紀さんも意気込んでいました。

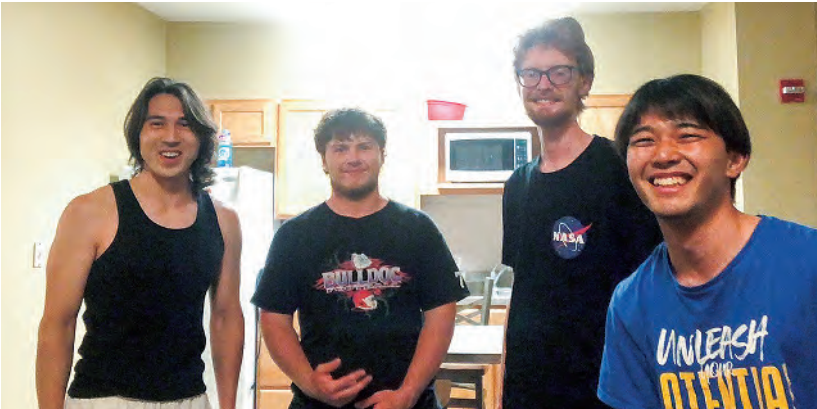
角田ゼミを履修する学生の選択理由はさまざまです。例えば「マーケティングやマネジメントを学びたくて」「先輩に勧められて」「オープンキャンパスで受けた角田先生の体験授業が面白くて」「角田先生の授業で経営学に興味を持ち、もっと学びたくて」と、動機やきっかけは異なりますが、その全ての声に共通していたのが、「自主性や自由度の高い学びに魅力を感じたから」というところ。経営や経済に関する課題をテーマとして、市場や消費者の動向を探り、各自が文献を読んで自分の意見を持ち、互いに議論し合っ

て、もう後には引けません。「ゴースインが出て、やる気と責任感がわきました。執行部を中心に調理担当、プロモーション担当、接客担当と、各自の得意とする分野で役割分担し、現在、企画を詰めている段階です」とゼミ長の拔山さん。入試、広報課とも綿密な打ち合わせを繰り返していると言います。

試作を重ねたラーメンは自信作だと、調理担当の小野さんと中西さんが口を揃えると、それを聞いていた他のゼミ生全員が頷きます。「調理担当からバトンタッチして、次にプロモーション担当の私たちがやるべきことは、大学のホームページやSNSを利用し、大々的に企画を発信すること。記録として動画やスライドも制作し、活動報告も行う予定です」と手塚汐音さん。その横で「より多くの人に知ってもらいたいので、チラシの制作も進めています」と、担当の横山龍雅さんが続いて声を上げました。接客担当の加藤風雅さんは、「当日のシミュレーションも万全で、訪れた高校生をなんとかそこに誘導したい」と張り切っています。また、「私は盛り上げ隊長。宣伝も大切ですが、なにより高校生によるこんでもらいたいですね」と、チラシ制作も担当する酒井基紀さんも意気込んでいました。

試作を重ねたラーメンは自信作だと、調理担当の小野さんと中西さんが口を揃えると、それを聞いていた他のゼミ生全員が頷きます。「調理担当からバトンタッチして、次にプロモーション担当の私たちがやるべきことは、大学のホームページやSNSを利用し、大々的に企画を発信すること。記録として動画やスライドも制作し、活動報告も行う予定です」と手塚汐音さん。その横で「より多くの人に知ってもらいたいので、チラシの制作も進めています」と、担当の横山龍雅さんが続いて声を上げました。接客担当の加藤風雅さんは、「当日のシミュレーションも万全で、訪れた高校生をなんとかそこに誘導したい」と張り切っています。また、「私は盛り上げ隊長。宣伝も大切ですが、なにより高校生によるこんでもらいたいですね」と、チラシ制作も担当する酒井基紀さんも意気込んでいました。

試作を重ねたラーメンは自信作だと、調理担当の小野さんと中西さんが口を揃えると、それを聞いていた他のゼミ生全員が頷きます。「調理担当からバトンタッチして、次にプロモーション担当の私たちがやるべきことは、大学のホームページやSNSを利用し、大々的に企画を発信すること。記録として動画やスライドも制作し、活動報告も行う予定です」と手塚汐音さん。その横で「より多くの人に知ってもらいたいので、チラシの制作も進めています」と、担当の横山龍雅さんが続いて声を上げました。接客担当の加藤風雅さんは、「当日のシミュレーションも万全で、訪れた高校生をなんとかそこに誘導したい」と張り切っています。また、「私は盛り上げ隊長。宣伝も大切ですが、なにより高校生によるこんでもらいたいですね」と、チラシ制作も担当する酒井基紀さんも意気込んでいました。



ルームメイトと寮の部屋で（右端が本人）

や台湾などのほか、今年度はオーストラリアでの短期研修も始まりました。短期研修では、派遣先の言語を集中して学ぶとともに、伝統文化の体験により異文化理解を深めます。多様な文化や価値観に触れる機会がきっかけとなり、長期留学を志すようになった学生もいます。

派遣される学生に対しては、各種オリエンテーションや充実した事前事後研修を行い、また危機管理会社との連携により、留学中の事件・事故・トラブルに対応できるよう万全の危機管理体制を整えています。

留学ノススメ!

本学の留学プログラムは、パートナーシップを結んでいる海外協定校への半年間、一年間の交換留学が中心となっています。コロナ後は順調に交流が再開し、帰国後の成果報告会では、語学力向上に加え、積極性やチャレンジ精神を身に付け、グローバルな視点を得るなど、一回りも二回りも成長した姿を見せてくれています。

また、近年は、短期プログラムの展開にも力を入れています。人気の韓国

留学リポート

アメリカ・ネブラスカ州立大学へ留学

英語専攻4年 尾方 那瑠

私はアメリカにあるネブラスカ州立大学のカーニール校（UNK）に一年間留学しました。コロナの影響で自分の計画より一年遅く、3年生の秋からの留学となりました。私自身初めての海外生活で、始まるやいなや目新しい景色ばかりの新鮮な毎日圧倒されました。日本の大学の授業との違いとして一番に挙げられるのは、人との距離の近さです。先生がとてもフランクで、生徒に意見を求める授業形態が主であり、発言の機会が多いと感じました。最初こそ何を発言すればいいのか分かりませんが、徐々に慣れ、自分の意見を稚拙ながら伝えられるようになりました。また生徒間の距離も近く、生徒同士で行うグループワークやプロジェクトがあるので仲良くなれます。休日には一緒にレストランに行くこともありました。

教員をはじめ多くの大学スタッフは親切な人ばかりで、日本人スタッフもいるため大学の手続き等は安心して行うことができました。また様々な国からUNKに入学・留学しており、インターナショナルなイベントが豊富でした。色々な国の文化に触れ、新たな見識を深める機会が多くあるのはとても魅力的だと思います。

1年を通して多くの人と関わり、言語が違ってもオープンマインドで会話でき

角田ゼミを履修する学生の選択理由はさまざまです。例えば「マーケティングやマネジメントを学びたくて」「先輩に勧められて」「オープンキャンパスで受けた角田先生の体験授業が面白くて」「角田先生の授業で経営学に興味を持ち、もっと学びたくて」と、動機やきっかけは異なりますが、その全ての声に共通していたのが、「自主性や自由度の高い学びに魅力を感じたから」というところ。経営や経済に関する課題をテーマとして、市場や消費者の動向を探り、各自が文献を読んで自分の意見を持ち、互いに議論し合っ

て、もう後には引けません。「ゴースインが出て、やる気と責任感がわきました。執行部を中心に調理担当、プロモーション担当、接客担当と、各自の得意とする分野で役割分担し、現在、企画を詰めている段階です」とゼミ長の拔山さん。入試、広報課とも綿密な打ち合わせを繰り返していると言います。

試作を重ねたラーメンは自信作だと、調理担当の小野さんと中西さんが口を揃えると、それを聞いていた他のゼミ生全員が頷きます。「調理担当からバトンタッチして、次にプロモーション担当の私たちがやるべきことは、大学のホームページやSNSを利用し、大々的に企画を発信すること。記録として動画やスライドも制作し、活動報告も行う予定です」と手塚汐音さん。その横で「より多くの人に知ってもらいたいので、チラシの制作も進めています」と、担当の横山龍雅さんが続いて声を上げました。接客担当の加藤風雅さんは、「当日のシミュレーションも万全で、訪れた高校生をなんとかそこに誘導したい」と張り切っています。また、「私は盛り上げ隊長。宣伝も大切ですが、なにより高校生によるこんでもらいたいですね」と、チラシ制作も担当する酒井基紀さんも意気込んでいました。

試作を重ねたラーメンは自信作だと、調理担当の小野さんと中西さんが口を揃えると、それを聞いていた他のゼミ生全員が頷きます。「調理担当からバトンタッチして、次にプロモーション担当の私たちがやるべきことは、大学のホームページやSNSを利用し、大々的に企画を発信すること。記録として動画やスライドも制作し、活動報告も行う予定です」と手塚汐音さん。その横で「より多くの人に知ってもらいたいので、チラシの制作も進めています」と、担当の横山龍雅さんが続いて声を上げました。接客担当の加藤風雅さんは、「当日のシミュレーションも万全で、訪れた高校生をなんとかそこに誘導したい」と張り切っています。また、「私は盛り上げ隊長。宣伝も大切ですが、なにより高校生によるこんでもらいたいですね」と、チラシ制作も担当する酒井基紀さんも意気込んでいました。

試作を重ねたラーメンは自信作だと、調理担当の小野さんと中西さんが口を揃えると、それを聞いていた他のゼミ生全員が頷きます。「調理担当からバトンタッチして、次にプロモーション担当の私たちがやるべきことは、大学のホームページやSNSを利用し、大々的に企画を発信すること。記録として動画やスライドも制作し、活動報告も行う予定です」と手塚汐音さん。その横で「より多くの人に知ってもらいたいので、チラシの制作も進めています」と、担当の横山龍雅さんが続いて声を上げました。接客担当の加藤風雅さんは、「当日のシミュレーションも万全で、訪れた高校生をなんとかそこに誘導したい」と張り切っています。また、「私は盛り上げ隊長。宣伝も大切ですが、なにより高校生によるこんでもらいたいですね」と、チラシ制作も担当する酒井基紀さんも意気込んでいました。

令和5（2023）年度 課外活動への補助一覧

令和6年2月現在

◆運動部			
サークル名	大 会	期 間	補助額
スケート部	第24回大学アイスホッケー交流戦苫小牧大会（全国大会）	8月29日（火）～9月3日（日）	285,000
スケート部	第96回日本学生氷上競技選手権大会	12月23日（土）～12月28日（木）	375,000
サッカー部	2023年度第72回全日本大学サッカー選手権大会	12月6日（水）～12月8日（金）	360,000
サッカー部	アットホームカップ2023インデペンデンスリーグ 全日本大学サッカーフェスティバル	11月25日（土）～11月29日（水）	330,000
サッカー部	第7回全日本大学サッカー新人戦	12月16日（土）～12月23日（土）	525,000
女子サッカー部	第45回JFA皇后杯全日本女子サッカー選手権大会	11月18日（土）～11月19日（日）	190,000
女子サッカー部	第32回全日本大学女子サッカー選手権大会	12月22日（金）～12月27日（水）	475,000
男子バレーボール部	2023年度第42回東日本バレーボール大学選手権大会	6月20日（火）～6月22日（木）	285,000
男子バレーボール部	ミキブレンススーパーカレッジバレー2023	11月27日（月）～11月29日（水）	345,000
女子バレーボール部	2023年度第42回東日本バレーボール大学選手権大会	6月20日（火）～6月23日（金）	225,000
女子バレーボール部	第70回秩父宮妃賜全日本バレーボール大学女子選手権大会	11月27日（月）～11月30日（木）	210,000
女子バレーボール部	2023年第24回西日本大学バレーボール学連女子選抜対抗戦	12月22日（金）～12月26日（火）	25,000
男子バスケットボール部	第75回全日本大学バスケットボール選手権大会	12月2日（土）～12月7日（木）	625,000
剣道部	第71回全日本学生剣道選手権大会、第57回全日本女子学生剣道選手権大会、第70回全日本学生剣道東西対抗試合、第17回全日本女子学生剣道東西対抗試合	6月29日（木）～7月3日（月）	120,000
	全日本女子学生剣道優勝大会	11月10日（金）～11月13日（月）	120,000
	全日本学生剣道優勝大会	11月3日（金）～11月6日（月）	200,000
準硬式野球部	清瀬杯第55回全日本大学選抜準硬式野球大会	8月31日（木）～9月5日（火）	480,000
準硬式野球部	第41回全日本大学9ブロック対抗準硬式野球大会	11月15日（水）～11月21日（火）	50,000
柔道部	全日本学生柔道優勝大会	6月23日（金）～6月25日（日）	195,000
柔道部	第44回北信越国民体育大会	8月18日（金）～8月21日（月）	20,000
柔道部	全日本学生柔道体重別選手権大会	9月29日（金）～10月1日（日）	225,000
柔道部	全日本学生柔道体重別団体優勝大会	10月20日（金）～10月23日（月）	280,000
柔道部	第20回湊谷杯全国学生柔道体重別選手権大会	11月17日（金）～11月20日（月）	100,000
卓球部	第92回全日本大学総合卓球選手権大会（団体の部）	7月12日（水）～7月16日（日）	375,000
卓球部	第89回全日本大学総合卓球選手権大会（個人の部）	10月25日（水）～10月28日（土）	220,000
卓球部	第19回全日本学生選抜卓球選手権大会	11月24日（金）～11月26日（日）	15,000
卓球部	天皇杯・皇后杯2024年全日本卓球選手権大会（一般・ジュニアの部）	2024年1月23日（火）～1月25日（木）	30,000
卓球部	第63回大阪国際招待卓球選手権大会	2024年2月15日（木）～2月17日（土）	60,000
男女バドミントン部	第66回東日本学生バドミントン選手権大会	9月4日（月）～9月9日（土）	690,000
男子バドミントン部	令和5年度文部科学大臣杯争奪第11回全日本学生バドミントンミックスダブルス選手権大会	8月11日（金）～8月13日（日）	15,000
男子バドミントン部	第74回全日本学生バドミントン選手権大会	10月8日（日）～10月11日（水）	40,000
女子バドミントン部	第74回全日本学生バドミントン選手権大会	10月5日（木）～10月8日（日）	80,000
ハンドボール部	令和5年度東日本学生ハンドボール選手権大会	8月10日（木）～8月13日（日）	460,000
ハンドボール部	令和5年度全日本学生ハンドボール選手権大会	11月3日（金）～11月8日（水）	345,000
陸上競技部	第92回日本学生陸上競技対校選手権大会	9月13日（水）～9月17日（日）	100,000
陸上競技部	第45回北日本大学学生陸上競技対校選手権大会	8月8日（火）～8月13日（日）	1,020,000
陸上競技部	第14回エコパトラックゲームス	11月1日（水）～11月4日（土）	120,000
陸上競技部	秋季島大カーニバル	10月31日（火）～11月7日（火）	60,000
チアリーディング部	第35回全日本学生チアリーディング選手権大会	11月24日（金）～11月26日（日）	45,000
	小計		9,720,000

◆文化系サークル			
サークル名	大 会	期 間	補助額
札幌大学吹奏楽団（尾田麻梨菜）	「K金管楽器コンクール」に札幌大学吹奏楽団の代表として出場（トランペット）	9月20日（水）～10月26日（木）	44,000
よさこいソーラン研究会Lafete	白老町の八幡神社で開催された例大祭のYOSAKOIイベントで、パレード演舞とステージ演舞を行った	10月1日（日）	50,000
民俗音楽研究部	新入生入部後の初ライブを行い、約1ヶ月半ほどの練習の成果を披露	6月11日（日）	40,000
	小計		134,000
合計			9,854,000

編集後記

皆様におかれましては如何お過ごしでしょうか。

この度の「後援会だより 61 号」においては、アフターコロナにより、活発化してきた、学生が取り組んでいるゼミナール活動や海外への留学、課外活動や就職活動について、会員の皆さまにお伝えする構成としました。前号に引き続き、学生が主体的に取り組む構成となっております。

今後も後援会の視点で大学の情報を発信する際の参考とさせていただきますので、ぜひ皆さまの忌憚のないご意見やご感想をお寄せいただければ幸いに存じます。

常日ごろ後援会の手足となり、活動が円滑に進むようにお力を注いで下さっています事務局担当職員の皆様へこの場をお借りしましてお礼を申し上げます。また、取材にご協力をいただきました皆さまに感謝申し上げます。

（広報委員長・伊藤）

令和6（2024）年度 キャンパスカレンダー

2024.4～2025.3

- 41日（月）入学式
1日（月）春学期ガイダンス・オリエンテーション（3/30～4/4）
5日（金）春学期授業（～8/5）
- 56日（月）開学記念日
25日（土）オープンキャンパス
- 614日（金）大学祭（～6/16）
29日（土）オープンキャンパス
- 727日（土）オープンキャンパス
- 84日（日）オープンキャンパス
6日（火）夏期休業（～9/18）
- 92日（月）春学期卒業発表
9日（月）秋学期集中講義（～9/14）
14日（土）春学期卒業証書・学位記授与式
14日（土）オープンキャンパス
19日（木）秋学期ガイダンス・オリエンテーション（～9/20）
21日（土）秋学期授業（～2/3）
- 1012日（土）総合型選抜自己推薦選抜、総合型選抜ウレシバ選抜
- 1123日（土）学校推薦型選抜・総合型選抜自己推薦選抜（A日程）・社会人特別選抜、海外帰国生徒特別選抜（～11/24）
30日（土）オープンキャンパス
- 1214日（土）総合型選抜自己推薦選抜（B日程）
24日（火）冬期休業（～1/4）
- 118日（土）大学入試共通テスト（～1/19）
- 25日（水）一般選抜（A日程）
- 33日（月）秋学期卒業発表
7日（金）一般選抜（B日程）
総合型選抜自己推薦選抜（C日程）
20日（木）秋学期卒業証書・学位記授与式
22日（土）総合型選抜自己推薦選抜（D日程）



入学式



オープンキャンパス・キャンパスツアー



オープンキャンパス・ゼミ体験



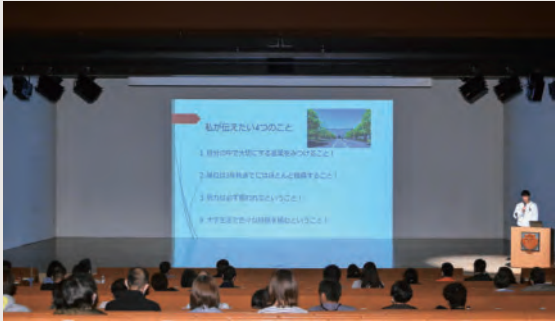
卒業式

令和6（2024）年度 札幌大学保護者懇談会（予定）

保護者懇談会では、大学への理解を深めていただくことを目的に、学生の修学状況、学生生活、就職状況等をご説明します。改めて開催案内をお送りしますので、ぜひご出席ください。



会長あいさつ



会場風景

場所	会場	開催日	開催時間
札幌	札幌大学 ※後援会総会	6／1（土）	保護懇 11：30～14：00 後援会総会 10：00～
苫小牧	グランドホテルニュー王子	9／6（金）	18：30～21：00
旭川	大雪クリスタルホール	9／7（土）	12：00～14：30
釧路	釧路ロイヤルインホテル		13：00～15：30
室蘭	室蘭市生涯学習センター「きらん」		12：30～15：00
北見	北見プラザホテル	9／8（日）	10：00～12：30
帯広	帯広市商工会議所		10：00～12：30
函館	函館国際ホテル		10：00～12：30
札幌	札幌大学	9／15（日）	12：30～15：00
青森	アートホテル青森	9／21（土）	12：00～14：30
秋田	秋田拠点センター ALIVE	9／22（日）	9：30～12：00